

「ひかりっ子」だより (宇土小学校だより)

令和2年11月 校長 樺木浩孝

○学校の次期リーダーとして、5年生が頑張ってくれました。

10月の便りに書きましたが、9月に行われた運動会では、6年生が「さすが最上級生！」と思えるような姿を見せてくれ、大変嬉しく思ったところでした。

すると、今度は5年生がとても感心することに取り組んでくれたのです。

それは、9月の運動会前から10月下旬までのかなりの期間、登校後から健康観察が始まる前の時間に、運動会までは全クラスで、運動会後はクラスを交代しながらグラウンドの草取りを行ってくれたのです。おかげで、ずいぶんきれいなグラウンドになりました。

今、そのグラウンドを使ってそれぞれの学年が体育の授業に取り組むことができます。

そしてこの取組が、児童の計画委員の人たちがプランニングして行われたものだったということでした。5年生の皆さん、本当にありがとうございました。

さらに、ブランコの足下の土がずいぶん削れてしまい、少しの雨でも水たまりができ、使いにくい状態になっていたのですが、それも5年生の力で何度も一輪車で土を運び入れ、使いやすい状態にしてくれました。よくブランコを利用している1年



生や2年生も、使いやすくなって喜んでいると思います。

○熊本県科学研究所物展示会（通称：熊本県科学展）で学校賞をいただきました。

熊本県科学展は、実施は熊本県教育委員会が主催している歴史のある展示会です。県内の小中学生がさまざまな科学研究を行い、それを応用紙にまとめたものを出品し、その多数の出品物から県全体で特別賞、優賞、良賞（以上を入賞といいます）が選ばれるようになっていきます。

今回、学校賞をいただいたのは、この作品入賞が55回に及び、県内児童生徒の科学教育振興に大きく貢献したと認められたからです。今年入賞を果たした児童の皆さんにおめでとうという気持ちになると同時に、これまでの宇土小学校の先輩たちの取組が継続していくなかで受賞することができた、とても価値ある賞の一つだと改めて思いました。

これまで指導を続けてこられたたくさんの先生方にも感謝するとともに、これからも継続した取組にしていきたいと思えます。

